第４回那須烏山市総合政策審議会 会議録

■日　時：令和２年２月４日（火）１０：００〜１１：４０

■場　所：烏山庁舎２階 第４会議室

■出 席 者：

（審議会委員）出席：１３名、欠席：２名

中村祐司会長、仲澤清一委員、石川翔平委員、加藤忠一委員、島崎健一委員、山村浩之委員、

中村恵之委員、澤村豊純委員、柳田京子委員、髙橋誠一委員、田島久男委員、髙橋寛之委員、

飯田淳一委員

※欠席：荒井一浩委員、川俣優委員

（市役所）

　 総合政策課：髙野課長補佐、櫻井係長、倉堀主事

■協議内容（概要）

**（１）第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について**

　　　櫻井係長が資料に基づき説明した。

　　　委員）審議会の中で戦略の１つ１つを深く掘り下げて、じっくりと検討する必要があると思う。

　事務局）第１期総合戦略は、多くの施策が盛り込まれており、１つ１つの事業について、深く検証をすることができない部分があったが、第２期総合戦略は、全部で１３の戦略に絞って策定していることから、次年度以降は、事業ごとに細かく効果検証を行えるものと考えている。

　　　　委員）市は高齢化が進んでいることから、ICTを活用した高齢者見守りは、とても良い取り組みである。

　　　　委員）基本方針の中で、新しい時代の流れを力にするため「Society5.0」の実現に向けて、未来技術を活用するとあるが、「SDGｓ」の考え方を盛り込んではどうか。

　　　　事務局）SDGｓは、環境や貧困対策など地方創生の取り組みと共通する部分があることから、他の自治体では総合戦略の中に盛り込んでいるところもある。本市では、SDGｓと地方創生との関連性は認識しているが、具体的には表記していない。なお、県内では宇都宮市が「SDGｓ未来都市」として先進的に取り組んでいる。

　　　　　　　　※SDGｓ：持続可能な開発目標のことで、2015年に国連で採択された国際社会共通

の目標。「誰一人として取り残されない社会」を実現するため、１７の目標

を設定。（貧困、環境、教育、福祉など）

　　　　会長）多くの自治体が横並びで、SDGｓに取り組んでいくとしているのが現状である。那須烏

山市としては、第２期計画において施策を絞り込んで策定するという方針であることか

ら、SDGｓを否定するわけではないが、あえて、盛り込まなくても良いのではないか。

　　　　委員）女性目線としては、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実が必要だと思う。

　　　　委員）１つ１つの戦略について、実際に誰がどのように実行していくかが重要である。

　　　　委員）本日の総合政策審議会としては、どういったところをどの程度まで議論するものなのか。各委員によって、認識が違っている。

　　　　会長）会長の立場としては、総合政策審議会が限られた開催回数・時間であることから、計画（案）自体については、了承していただいたうえで、委員個々の立場から自由に意見を言っていただきたい。それらの意見の中で、委員の皆さんがある程度共有していただけるようなものをまとめていければと思っている。

　　　　委員）総合政策審議会としては、計画案に対して、意見・提言を述べるということだと思う。ここで、何か具体的な施策を決定したり採決するような場ではない。

　　　　委員）総合戦略を推進するにあたっては、行政だけでできるものではない。今後、具体的に戦略を進めていくうえで、各戦略のどの部分を民間にお願いするのか、又は協力して進めていくのか等を明確にした上で、取り組んでいただきたい。

　　　　委員）市内の中学生等を対象とした企業の魅力発信事業に取り組むとあるが、子どもだけでなく、大人（親）も含めて取り組んでいただきたい。

　　　　委員）都市と農村との交流事業について、現在の取り組みは、格安の参加料金でモニターツアーのようなものである。今後は、魅力を高めるような取り組みに改めて、民間とも協力して進めていただきたい。

　　　　事務局）都市と農村との交流事業については、関係人口の創出に向けて、来年度、推進体制の整備や魅力ある体験メニューの洗い出し等を行い、持続可能な取り組みとなるよう具体的な検討を行っていきたい。

　　　　委員）立地適正化計画は、市街地に人を集約していくという考え方であると思うが、一方で、中山間地域の自然環境保全にも配慮が必要である。

　　　　委員）コンパクトシティについては、骨格となる明確なビジョンを決めたうえで、進めていただきたい。

　　　　事務局）立地適正化計画については、昨年、住民説明会を開催し、計画の概要を説明したところであり、今年７月の成案化に向けて作業を進めている。具体的なビジョンとは言えないかもしれないが、市街地にどのような都市施設を誘導していくのかそのような内容が分かるような計画となっている。

**（２）その他**

　　　　・今後のスケジュールとしては、市議会議員への説明、パブリックコメントを経て、年度内に策定する予定である。